



“子どもとともに成長していきたい” —「堺・学校インターンシップ」事業より—

11月末現在、本市立幼・小・中・養護学校103校園で210名のインターンシップ研修生が、年間を通して週1日程度、学校園で実際の教育活動を体験しながら様々なことを学んでいます。この事業は、学校教育活動の活性化と将来の堺の教育を担う人材の育成を目的として平成17年度から実施しており、本年度で3年目となりました。それぞれの立場から、次のような成果が報告されています。

インターンシップ研修生から

- ・ 教員としての資質や能力等、実践的な力を磨くことができる。
- ・ 教育実習と違い、年間を通して教員の様々な仕事を体験できる。
- ・ 自分が教員に向いているかどうかの適性を見極めることができる。
- ・ 子どもともかかわりを通して自分自身が成長する。
- ・ 卒業論文や大学での研究に役立てることができる。
- ・ 教員になりたいというモチベーションが高まる。



学校園から

- ・ 職場の雰囲気が明るくなる。
- ・ 学習指導だけでなく、学校行事や中学校における部活動などにも積極的に参加してくれるので、さまざまな教育活動に支援を受けることができる。
- ・ 研修生は子どもたちにとって年齢が近いので、子どもたちが親近感を持ち接することで、子どもとの信頼関係を築くことができる。

大学から

- ・ 教職志望の学生に対し、就業体験の機会を与えられる。
- ・ 同世代の学生集団だけでなく、子どもたちとかかわる中で大学生の人的成長につながる。
- ・ インターンシップを大学のカリキュラムに位置づけることができる。
- ・ 学校園と大学との連携を図ることができる。

平成19年度「堺・学校インターンシップ」中間発表会 インターンシップ研修生の発表から

インターンシップ活動で学んだこと ～先生として～

『先生』と呼ばれるのは、うれしいけどちょっと恥ずかしくてドキドキする。『先生』という言葉には、『先生』という仕事の大切さや責任の重さが含まれている気がする。今、私は『先生』と呼ばれながら、生徒たちに『先生』として育ててもらっているのかもしれない。一人一人の提出物に、一人一人の生徒の良さを発見し対話しながらコメントを書いている担任の姿はとても素敵だと思った。私もこんな対話のできる『先生』になりたい。そして生徒の声なき声に耳を傾ける『先生』になりたい。

人権教育コースで学んだことを生かしたい

インターンシップ活動を通して、たくさん子どもや先生から、一つの学級の中に、子ども一人一人の思いや気持ちが存在し、それぞれの家庭や背景が存在することも教わりました。そこで、さまざまな課題のある子どもと出会い、自分の未熟さを痛感することもありましたが、子どもとかかわる中で、一緒に成長していきたいと強く感じるようになりました。私たちのかわりにより、子どもの悩みが一つでも減ってくれたり、笑顔が一つでも増えてくれたら、とても素敵なことだと思います。

10月20日に開催した中間発表会を約45分に編集したビデオを制作しました。当日参加できなかったインターンシップ研修生や学校関係者の方々に、ビデオを見たいとご希望の方があれば、学校教育管理指導グループ(Tel. 228-7436)までご連絡ください。

教育委員会短信

おいでよ！ 堺市立堺高等学校へ(2)

—夏以降、これまでの説明会を終えて—

中学校進路説明会等への参加、新たなパンフレット配付、広報さかい(12月号に掲載・1月号にも掲載予定)などこの間の情報提供に対し、教育改革推進課には、保護者等からの問い合わせが寄せられています。主には、入学(入試)、進路、学校体制に関する質問です。

<入学は……?>

市立堺高校では、理科大好き人間や、ものづくり・マネジメントに興味をもつ生徒が集い、新たな教育文化の創造を学校全体で進めます。理科・数学を重点的に学ぶサイエンス創造科をはじめとする、工業・商業に関する専門学科から成る高校であり、「好き」なことを全力で学習する生徒を、全力で応援します。

<進路の支援は……?>

個別サポートシステムなどを活用し、生徒一人一人の進路実現を丁寧に進めます。大学進学にも就職にも対応できるよう最大限に工夫したカリキュラムのもと、大学・産業界との連携授業や大学受験などの専門家からも指導を求め、質の高い教育を提供していきます。

<学校体制は……?>

現在の市立高校4校の教職員が核となり、運営します。また、学校顧問の設置(11月28日産経新聞朝刊及び12月14日毎日新聞朝刊に掲載)など、市立堺高校での教育を力強く推進する新たな組織などを工夫しつつ学校体制を整えます。

市立堺高校の教育内容に関する取り合わせについては説明をしていますが、具体的な進路指導にかかわる質問等については「各々の中学校の先生とよく相談してください。」とお願いしています。特色づくりの進め方など、パンフレットに記載した事項については、決定次第、具体的な実施方策などについて速やかにお知らせしていきます。

また、12月15日(土)の午前10時から、市立堺高校の説明・見学会を市立工業高校・第二工業高校で実施しました。400名を超える生徒・保護者の皆様の参加を得て、全日制定時制の各学科別に行っています。

市立堺高校に関してのご質問等があれば、教育改革推進課(Tel. 228-7635)までお問い合わせください。

※参考 市立堺高校 HPアドレス www3.sakai.ed.jp/sakai-hs/